

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年 12月 16日		～	2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 12月 16日		～	2025年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 12月 16日		～	2026年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所は、法人の他事業との連携を取っています。ご利用いただいているお子様は当法人の児童発達支援、訪問看護をご利用いただいているお子様が多く、訪問支援員との関係が良好で、お子様の育ちを多職種の視点で見ながら支援を実施しております。	訪問看護スタッフとも様子を共有し、どのような支援をしてきたか、今後どのような関りが必要かなどを話し合っています。必要時には担当訪問スタッフを同行させていただくこともしています。	大きな集団生活の中にどのような支援ができるのか、それぞれの訪問先施設によっての特徴がありますので具体的な話し合いをしております。
2	直接支援だけでなく、先生方とお話をさせて頂き、お子様の育ちや様子を共有させていただくことを大切にしています。	大きな集団と、小さな集団や個別リハビリとは、お子様の様子が違うことがあります。それぞれの場でのお子様の様子の共有をする中で、工夫できる場所が見えてくる場合がございます。日常の様子をお聞かせいただきながら、お子様の共通の理解ができるようにお話をさせていただいています。	お子さまの育ちの様子を今後も共有させていただきたいと思っております。取り入れられる事、工夫できる事など、一方的なお話にならないよう、集団生活の流れや先生方の配置などもお聞きした上で、相談ができるように配慮して参ります。
3	訪問支援員は、保育士、看護師、作業療法士が在籍しています。訪問させていただくお子様に必要な支援員を配置しており、基本的には担当制としています。同じ支援員が同じ施設に何うことで、先生方との信頼関係を築けるようにしています。	看護師が在籍していることで、医療的ケアのあるお子様にも対応ができています。また、担当制とすることで、いつも同じスタッフが参ります。前回の訪問時にお話ししたことの確認や変化をお聞きしたり、細かな様子の変化もお伝えするようにしています。必要に応じて多職種連携を図っております。	保護者様からのご希望で始まる保育所等訪問支援ですが、実際には訪問先施設の生活でのご相談について一緒に考えさせていただいております。お忙しい中、先生方にお時間を取っていただき、お話をさせて頂いています。必要な職種を訪問させる事ができるよう、先生方の心配事などをお話しいただけるよう、視点を広く持てるようにスタッフ教育をしております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達管理責任者と担当スタッフとの話し合いはできており、情報共有もできているが、訪問支援員同士の話し合いの時間を取ることができず、どのような支援をしているかの共有が紙面上になっている。	児童発達支援との多機能のため、休憩時間が別々であったり、他の業務があることで、全員が集まって話し合う時間を作る事が難しい。それぞれが、報告書に目を通すなどしているが、やはり直接話すことができていない。朝から訪問に出ることも多く、紙面上でのやり取りや個別でのやりとりとなりやすい。	児童発達管理責任者を中心に、検討事項や報告・相談事項を共有できるようなシステムづくりをしていく。
2	保育所等訪問支援のみをご利用いただいているお子様、特に保育園に通われているお子様の場合、保護者様の勤務時間との関係でお話をする時間を取ることが難しいケースが増えてきています。	保護者様の勤務時間との関係でお話する時間の確保が難しい場合が多く、保護者様のお昼休みやご帰宅後の忙しい時間にご協力を頂いているのが現状です。	報告書に関しては郵送、必要な連絡については電話やショートメールを利用しております。お忙しいとは存じますが、お昼休みやご帰宅後に引き続きお電話等でお話をさせていただくかと思います。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 保育所等訪問支援 More

公表日 2026年 3月 31日

利用児童数 15

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8			5	○教具教材が具体的にどのようなものかわかりませんが、絵カードなど準備いただいています。	●保育所等訪問にて絵カードやその他の資料、道具といったものを、それぞれのスタッフが必要時に持参しています。どちらかといえば、工夫できる点を相談しながら、道具や教具を準備するお手伝いをする人が多いです。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	12			1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	13					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	13					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	13					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	13					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	13					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	13					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	13					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	12				1	
保護者への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10				3	
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	13				○臨時の際にもご対応いただき、また、すぐに共有していただけて大変安心しました。	●ご相談いただき、ありがとうございます。心配事がございましたら、ご連絡ください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	13					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	13					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	13						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	11	1		1	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	13				○いつも詳細な説明、報告書をいただき、わかりやすく助かっています。 ○いつも詳しく共有して下さるので安心してしています。 ●ありがとうございます。今後も、その日の様子と先生方と相談した点について、保護者様と十分に共有できるように、努めて参ります。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9			4	
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	11			2	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			1	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	12			1	○そこまでの自己表示はできていない為。(嫌がる理由がななので、嫌がっていないと思います。) ●もしも、お子様が嫌がられるような様子がございましたら、いつでもお伝えください。介入方法について、改善してまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	13				○園と家とMoreが共通の認識を持ち、子どもを育てていけていると思います。園も専門家からの意見を聞き、すぐに取り入れてくれていてありがたいです。 ○いつも寄り添っていただきありがとうございます。今後ともよろしく願いたします。 ○担任の先生とも良好な関係を築いていただきながら、丁寧に対応いただいております。大変心強いです。 ●ありがとうございます。お子様の様子の共有、対応方法の共有ができると、支援が線に変わっていきます。その意識を持ちながら、支援をさせていただいています。 ●担任の先生方には、お忙しい日常業務の中、訪問を受け入れていただき、相談をさせていただく時間も頂戴し、感謝をさせていただきます。先生方とお話しをさせていただくことで、信頼関係を築いていけるように努力してまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		2026年 3月 31日	
児童発達支援 保育所等訪問支援 More		訪問先施設数		2026年 1月 31日 回収数 8/12	
チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものです。	6	2		<p>○助言説明は特になかった。</p> <p>○訪問のタイミング（時間など）を助言していただきたい時に合わせていただき、感謝しています。</p> <p>○運動会前だったので、運動面での介助の仕方などを教えてもらえてよかった。</p>	<p>●説明がなかったとのこと、大変申し訳ございませんでした。お話をする時間を取らせていただいておりますが、既に先生方がご存じの事であったのかもしれませんが、助言というよりも、相談をするという立場で伺っております。訪問させていただいたお子様について、先生方のご配慮、集団への適応ともに十分だったのでないでしょうか。</p> <p>●訪問が必要際には、ご連絡を頂けたらと存じます。月の訪問回数が決まっておりますが、予定を早める等の対応について相談させていただけたらと存じます。</p> <p>●運動会などイベントは、普段と違う活動、動きが多くあります。一緒に考えさせていただきます、あ</p>
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足しています。	6	2		<p>○時々、見た感想を伝えてくれた。</p> <p>○訪問がまだ1度だけなので、どちらともいえない。</p> <p>○加配児に対する専門知識や援助に対する助言がありたいと感じた。</p> <p>○保育園の生活に合わせた支援をしていただいています。</p>	<p>●感想だけとなったとのこと、大変申し訳ございませんでした。必要なお話ができるよう、スタッフ教育に努めてまいります。</p> <p>●訪問を重ねていく中で、気になる点がございましたら、いつでもお伝えください。</p> <p>●今後も十分な支援が行えるよう、研鑽して参ります。</p> <p>●今後も訪問先の生活、活動に合わせた支援ができるよう、一層の努力をしてまいります。</p>
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれています。	7	1			
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されました。	4	4		<p>○困りごとがあまりなかった。</p> <p>○訪問がまだ1度だけなので、どちらともいえない。</p> <p>○個別配慮としての助言が多く、活動に取り入れづらい、集団生活の中では難しい。</p> <p>○日々悩みながら、迷いながらの保育をしている中で、アドバイスなどで改善できています。</p> <p>○園での困りごとのタイミングに合わせてきてもらっているわけではないので、課題の共有に時間がかかり、質問のタイミングを逃すことがある。</p>	<p>●お忙しい中、訪問を受け入れていただき、ありがとうございました。先生方のお困り事がなかったとのことですが、保育所等訪問支援は保護者様からの依頼で開始されます。十分に集団に適應できていることが確認ができましたら、終了となります。保護者様に相談がなかった事や先生方のご配慮が十分だった点についてはお伝えさせていただきます。</p> <p>●訪問を回数を重ねていく中で、お役に立てるよう努めてまいります。</p> <p>●集団生活にとりいれにくいお話だったとのこと、大変申し訳ございませんでした。生活に合わせて工夫できるような視点でお話しをしていけるよう、スタッフ教育をしてまいります。</p> <p>●悩みや迷いを共有していただき、ありがとうございます。今後もお子様の集団生活について一緒に考えていけるよう一層の努力をしてまいります。</p> <p>●困りごとのタイミングが合わないとのこと、大変申し訳ございません。お忙しいとは存じますが、必要時にご連絡をいただけたら、早めに訪問ができるよう、スケジュール調整をさせていただきます。</p> <p>●ご満足いただけるよう、努力してまいります。</p>
5 事業所からの支援に満足しています。	4	4		<p>○訪問がまだ1度だけなので、どちらともいえない。</p> <p>○保育園で出来ることを少しずつ増やしていけるような支援をしていただいています。</p>	<p>●お子様に合わせた支援ができていたとのこと。今後も、お子様の生活に合わせた支援を提供できるよう、努力してまいります。</p>
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<p>○訪問者と子どもの関係性が薄いように感じた。</p> <p>○いつも相談のつてくださる、そばにいてくださることが、どんなに心強いことか！これからどうぞよろしくおねがいします。</p> <p>○いただいた助言を元実践できる場所は取り入れさせていただきます。ただ、個別援助のアドバイスについては、あくまでも集団生活なので、加配担当のいない児童に対して難しい面もありました。本人のペースで成長はしています。一斉活動の中で刺激を受けながら成長を見守っていきたいと思います。今後、サポートはなくても大丈夫かと感じています。食事や排泄やぬり絵、ブロック遊びなど著しい成長が伺えます。日々、お友達や保育者との関わりを通じて更なる成長が期待できるお子さまであると認識しています。</p> <p>○保育所等訪問支援を多くの保護者の方が活用（利用）してくれることを願います。保育園職員にとっては、とても心強い支援です。</p> <p>○的確なアドバイスをもらえて、保育の中にかせていけている。</p> <p>○フィードバックの時間を取ることが難しく、記録が取れないことも多いので、記録をもらいたい。</p> <p>○家庭へのフィードバックにタイムラグがあるようなので、園からどの程度家庭に伝えてよいかわからない部分もある。</p> <p>○いつもありがとうございます。とくにございません。</p>				<p>●大変申し訳ございませんでした。支援の方法には、直接支援と間接支援とがございます。お子様の生活、先生方の指導の邪魔にならないよう気を付けながら訪問をさせていただいております。必要以上に関わらないように配慮した結果だったかもしれません。</p> <p>●こちらこそ、相談をしていただき、ありがとうございます。今後も一緒に考えていけるよう、努力してまいります。</p> <p>●集団生活の中での個別援助の難しさを痛感致しております。スタッフは先生方とお子様の成長の様子が共有できていましたでしょうか。共通認識ができるよう、先生方とお話の時間でどのようなお話ができ、集団生活に合わせたお話しができるのか、スタッフで話し合いを重ねながら集団生活を意識できるようにスタッフ教育をしてまいります。</p> <p>●ありがとうございます。多くの保護者様にご利用いただけるよう、今後も努力して参ります。</p> <p>●保育に合わせたご相談ができていたとの事、今後も一緒に相談させていただきたいです。</p> <p>●保護者様への報告書を作成しております。保護者様の同意が得られましたら、報告書をお渡しすることは可能です。直接スタッフにご相談ください。</p> <p>●保護者様へは報告書を作成してお伝えしておりますので、訪問日直後に報告をすることはございません。保護者様への伝え方、お話しの内容などお悩みのようでしたら、訪問スタッフと相談ください。</p> <p>●いつも、訪問を受け入れていただき、ありがとうございます。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 保育所等訪問支援 More		公表日			2026年 3月 31日		
環境・運営・体制	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など		課題や改善すべき点			
		1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4		絵カードなどを使用している。多くの教材は使用できていないが、訪問先にあるものを使用している。訪問先にあるものを改良したり、アイデアを話し合っている。絵カードや絵を太くする自動具など、想定できるものは準備をしています。	訪問するお子様や訪問先によって、必要なものが異なっております。各スタッフで、持参をしてよかったもの、改良してよかったもの等、アイデアを共有してまいります。		
2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		自分の担当はまだ少ないが、希望の訪問スケジュールは調整できている。	ご利用いただいているお子様は徐々に増えてきておりますが、スタッフの数も十分に対応可能になっております。				
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		広く職員参画ではないが、訪問先ごとの業務改善は各自で児発管と話している。	訪問前後で、各スタッフが児発管と相談しながら行っております。目標設定、振り返りについても、同様に実施しております。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4						
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4						
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	外部評価は未実施です。	今後検討していきたいです。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	児童発達を含めて職員を外部研修に行かせてはいる。	外部研修については、必要なスタッフに声をかけて外部研修へ行ってもらっています。			
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		インフォーマルなアセスメントになっています。	インフォーマルアセスメントではありますが、状況や環境とお子様の行動、対応した際のお子様の様子の変化を多角的な視点で見た上で計画立案しております。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4						
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4						
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4						
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4	標準化されたアセスメントは使用していない。	フォーマルなアセスメントの導入は現在検討中です。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4						
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4						
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	児発管と必ず支援前後の打合せ、振り返りを実施しています。担当に任せているところがある。支援前は何か事前に相談事などがわかっている時に、情報共有や話し合いをしている。	各担当で意見の違うところがありますが、保育所等訪問は当日に相談内容をお聞きすることが多いため、事前の打ち合わせをしているかどうかはお子さんによって違ってきます。事前の準備が必要な時には、児発管と話し合いをしています。			
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		児発管と必ず支援前後の打合せ、振り返りを実施しています。報告書を提出してもらい、振り返りを行っている。	訪問前後で、各スタッフが児発管と相談しながら行っております。				
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4							

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	1	記録、報告書作成が遅れがちなことがある。	今後、できるだけ早くに作成していくよう、業務改善に取り組みます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1	個人で研修や講習に参加している。 医療保育士の研修に行かせている。	今後とも質の向上のために研修機会を設けて参ります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		4		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	今のところ、できていない。	必要性を感じているので、取り組んでいけるようにしたい。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4		HPやSNSを活用してはしません。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		4	これまで直接支援を実施した中でもヒヤリハットがなかったため、実施したことがない。	ヒヤリハットが起きたことがないのですが、起きた際の共有や再発防止対策の検討方法は考えて参ります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		児童発達支援の職員と合同で実施しています。	今後も定期的に実施してまいります。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	3	そういった状況に該当する児童を担当したことがない。 身体拘束を保育所等訪問で実施したことははない。 児童発達支援をご利用のお子様に関しては、児童発達の支援計画には記載している。	身体拘束を保育所等訪問で実施する機会が現在のところありません。